

令和2年9月30日 公告
「西島住宅23号館建設工事」

○設計図書の一部に表記誤りがありました。再度ご確認ください。

修正箇所	誤	正
図面番号 229 図面名称：壁リスト 記載漏れ箇所の追記	図面のとおり	図面のとおり
図面番号 301 図面名称：外構計画図 誤記修正	図面のとおり	図面のとおり

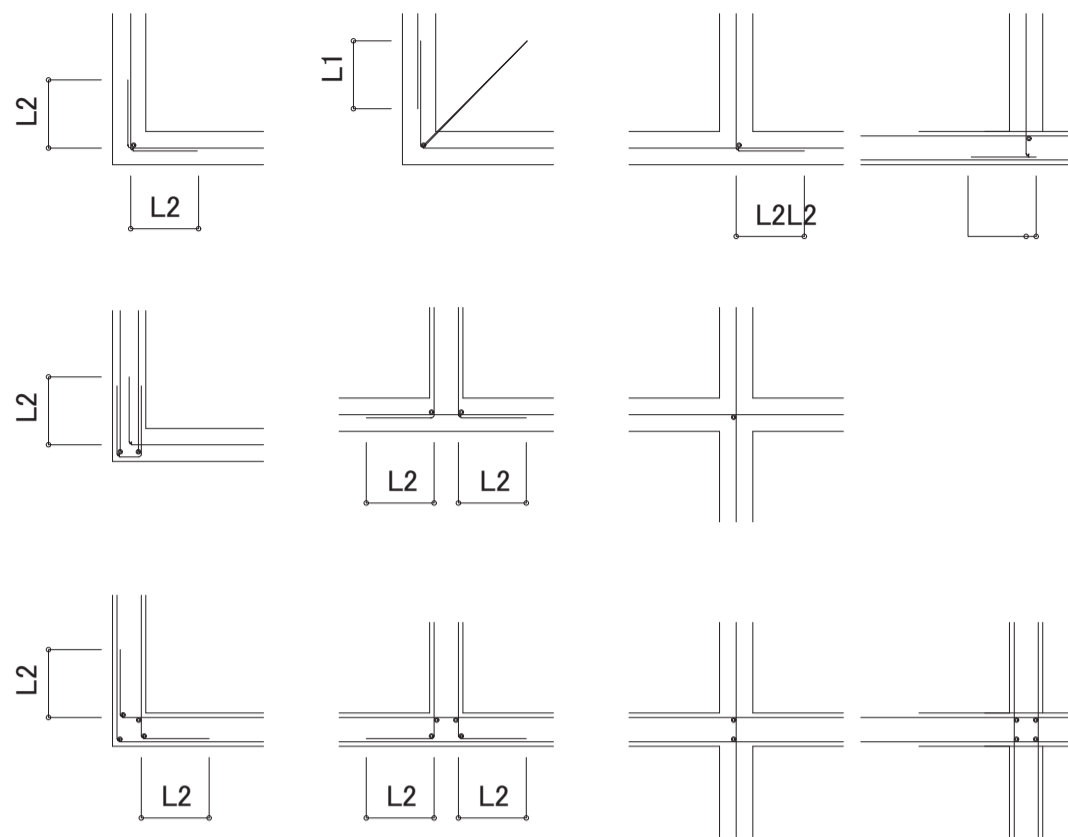
1.壁配筋リスト (CORE部の壁は別図による。)

Table with columns for wall thickness (W25<25A>, W20,W18, W15, W15A, W12,W10, CB, W25C) and rows for reinforcement details (縦筋, 横筋, 開口補強筋).

Table with columns for wall type (EW18, EW18A, EW18B, EW15, EW15A,W15B, EW25<25A>) and rows for reinforcement details (縦筋, 横筋, 開口補強筋).

註)・立ち上り壁W25は EW18,EW15,EW15Aの下部とし、W25Aは EW18Aの下部とする。EW18Bの下部はW25Cとする。・W25B、W18A、W18B、W15Cはセンターメインコアもしくは屋外階段詳細図を参照する。

2.壁 交差部



耐震壁の場合

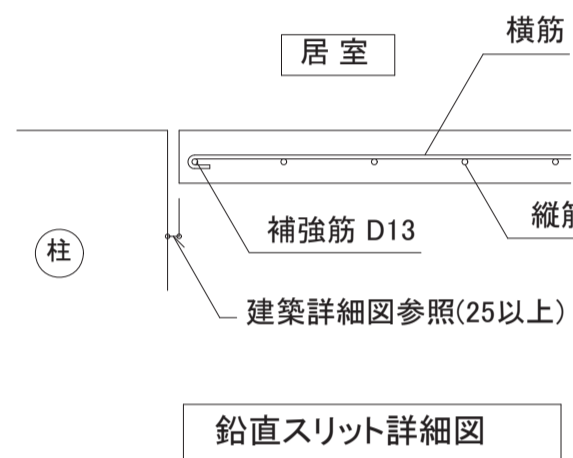
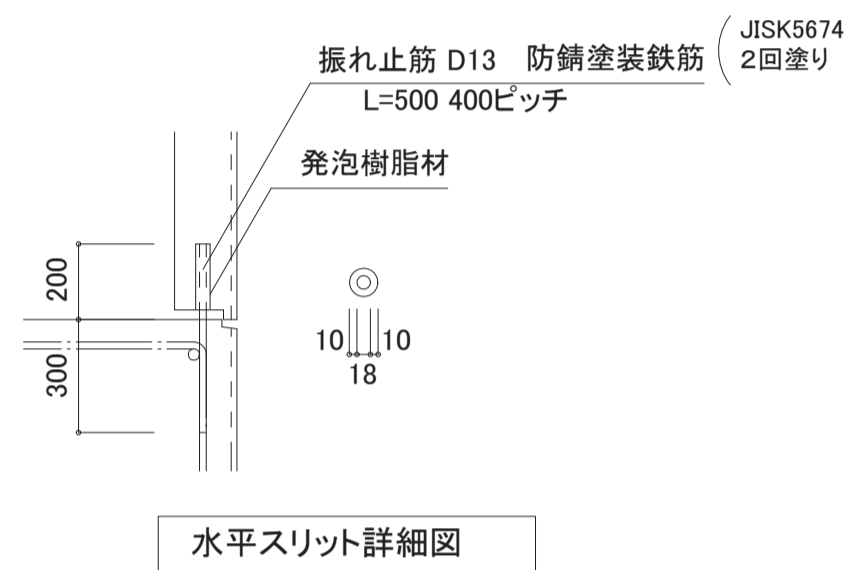


その他壁の場合



壁配筋要領

- 1. 横筋は水平アンカーとする。
2. 端部補強,縦筋,斜筋は、1.壁配筋リスト 開口補強筋による。
3. 壁交差部 補強筋径 (本数は左図による)
W10 ~ W12 - D13
W15 - D16
W18 ~ W25 - D16
但し、交差する壁厚が異なる場合の補強筋径は厚い方による。
4. 開口補強筋の定着はL1とする。但し開口部が柱、梁に接する部分は補強不要とする。
5. スリーブ補強は100mm以下は不要とする。
100を越え250mm以下で孔をさけて配筋できる場合は補強不要とする。但し斜筋(D13)は配筋する。
6. 水平スリット、鉛直スリットの詳細は建築図参照。
7. 延焼の恐れのある部分のスリットの耐火時間は60分以上とする。
8. 耐震壁縦筋の定着はL2とする。
9. 耐震壁縦筋の継手は壁内とし梁の中に設けない。

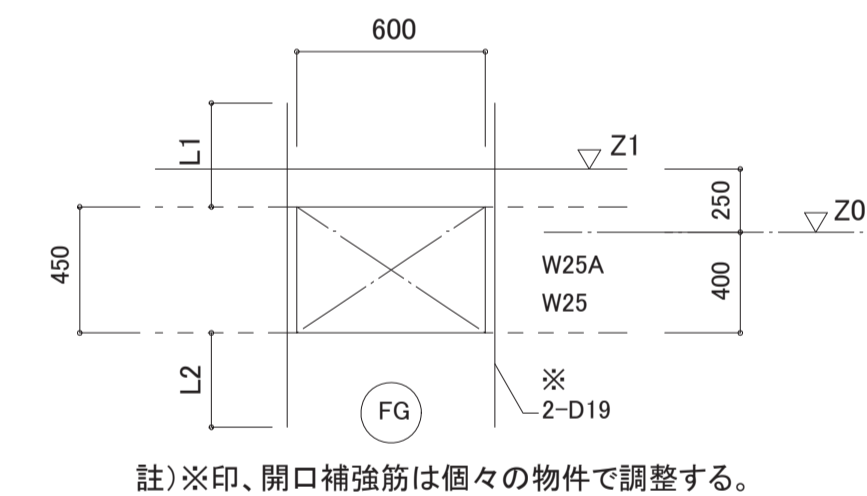
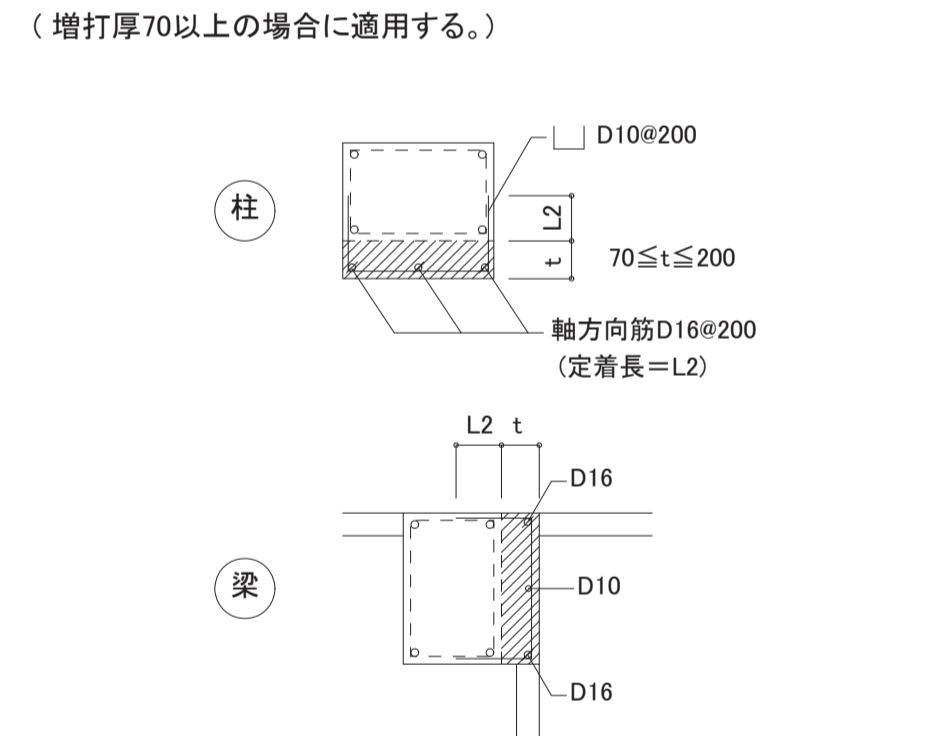
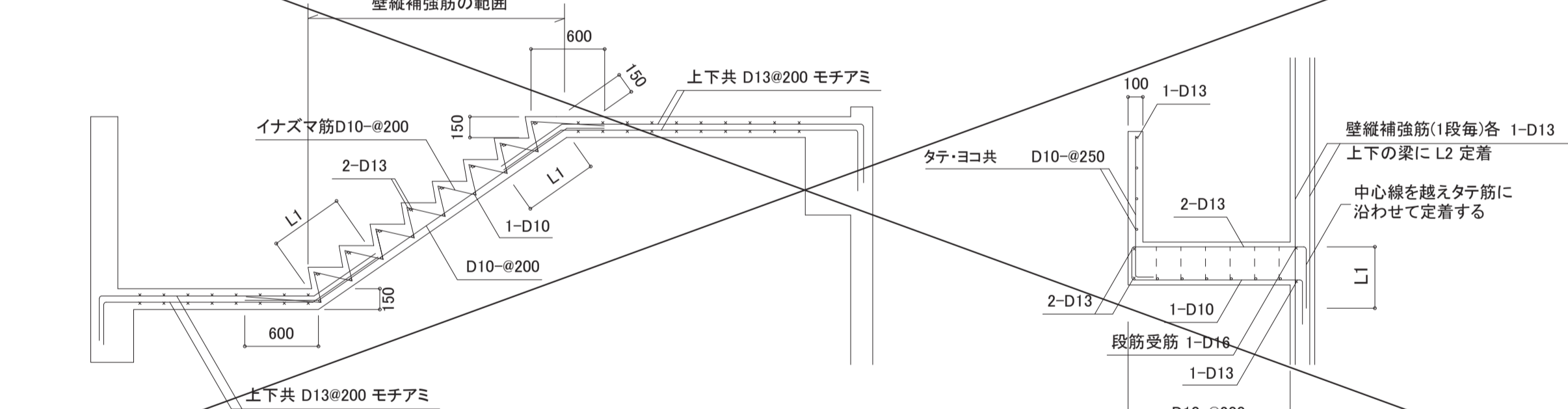
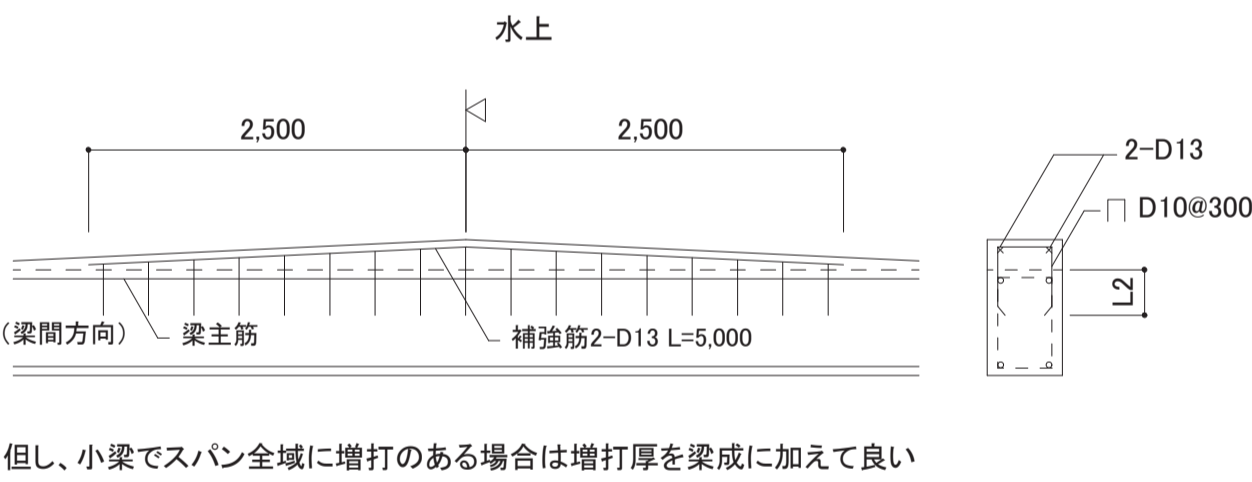


最上階梁の増打補強

階段配筋詳細図(別図特記なきは下図による。)

柱及び梁の増打補強

床下点検口配筋補強図

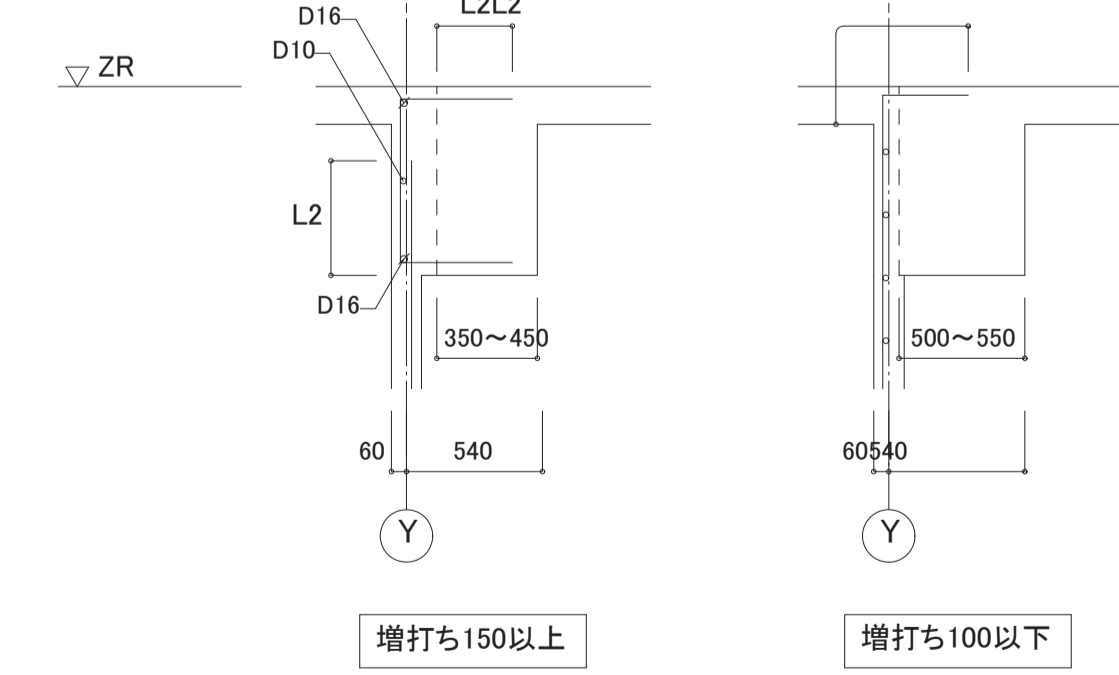
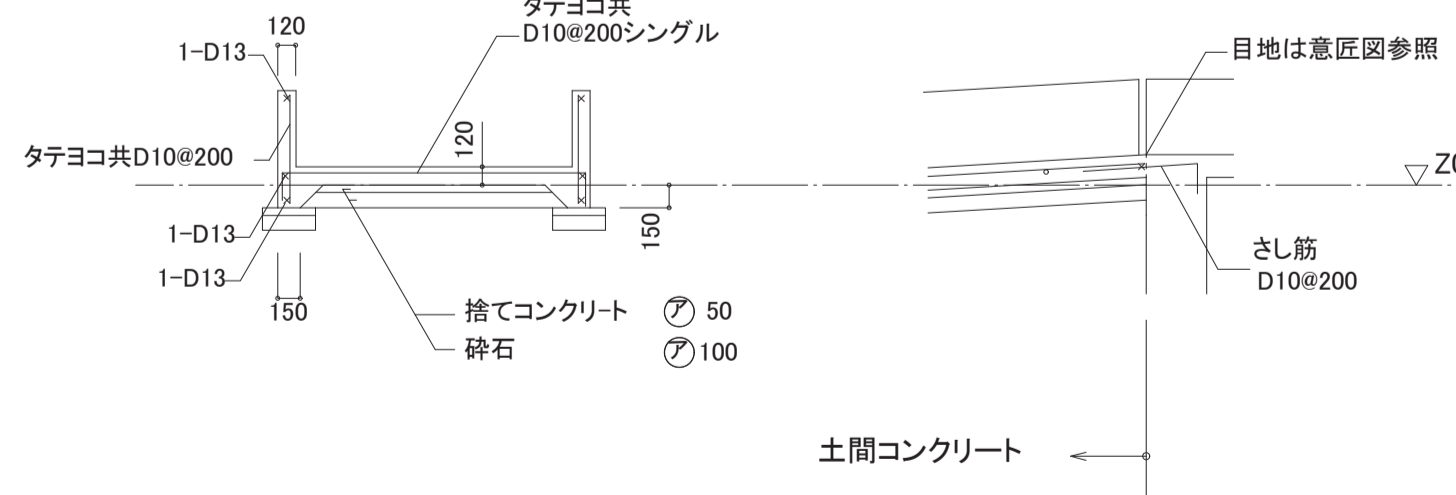
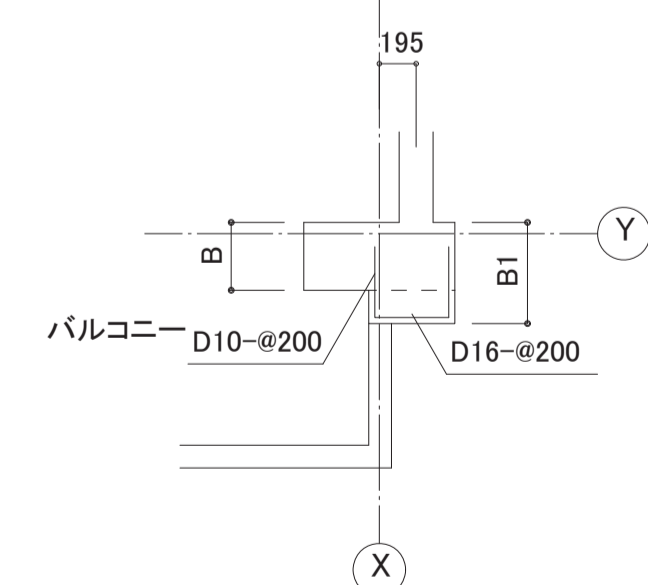
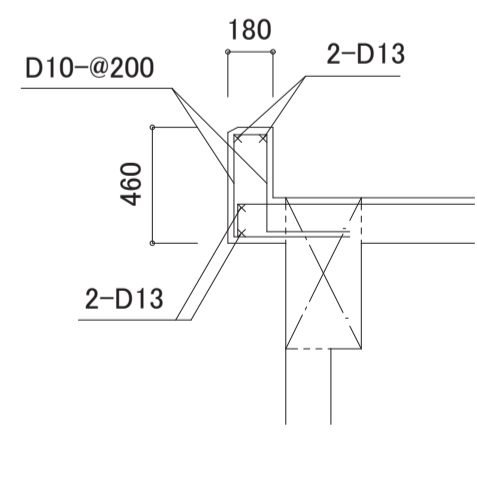


妻バラベツ

バルコニー妻柱増打ち

エントランススロープ配筋詳細図

2DKB,3DK中,妻廊下側増打部配筋納まり図



柱寸法Bが、上階で小さくなっていく場合は、1階の柱寸法B1に合わせ上記の増し打ちを行う。廊下側妻柱で床版が取付かない部分のあるものはこれに準ずる。

Table with project information: 西島住宅 23号館建設工事, 共同設計株式会社, etc.

Table with revision history: 修正日付, 修正内容, etc.

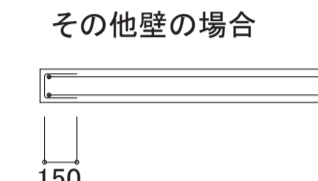
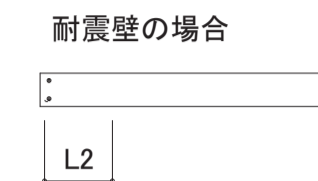
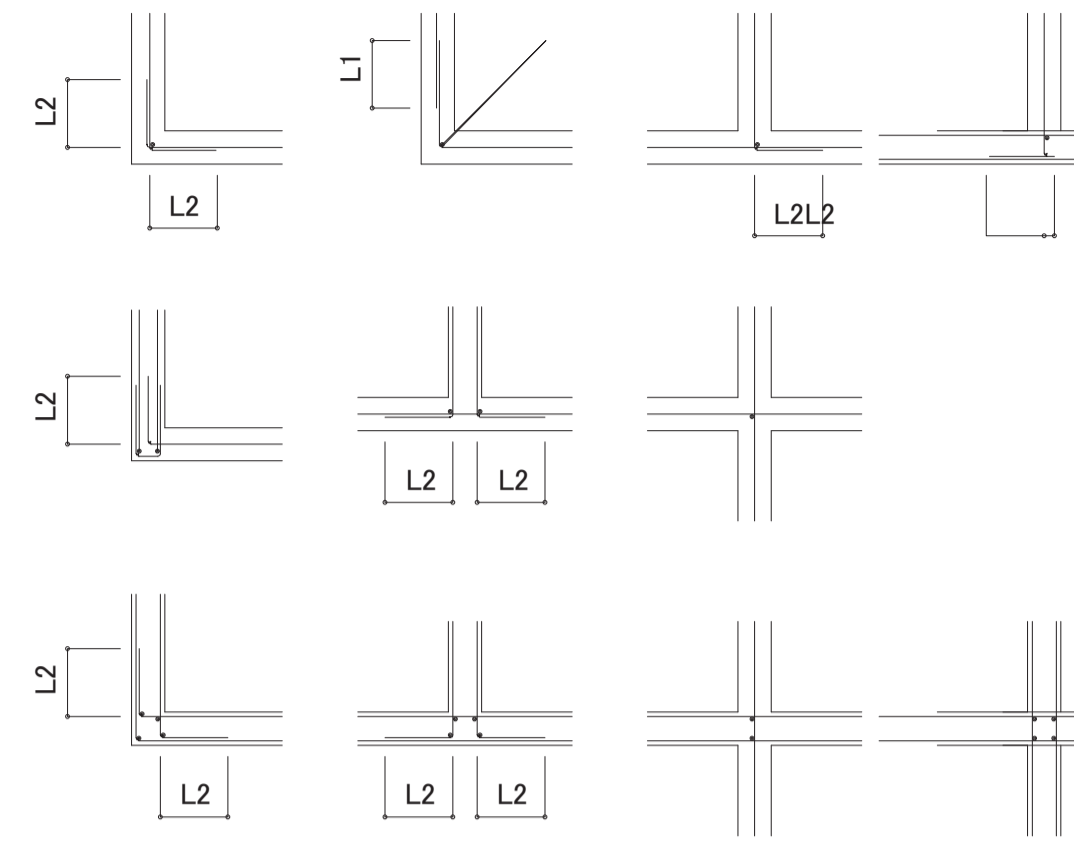
1. 壁配筋リスト (CORE部の壁は別図による。)

Table with columns for wall thickness (W25<25A>, W20,W18, W15, W15A, W12,W10, CB, W25C) and rows for reinforcement details (縦筋, 横筋, 開口補強筋).

Table with columns for wall type (EW18, EW18A, EW18B, EW15, EW15A, W15B, EW25<25A>) and rows for reinforcement details (縦筋, 横筋, 開口補強筋).

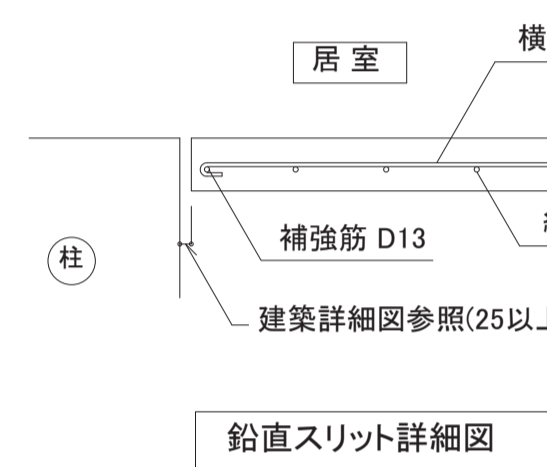
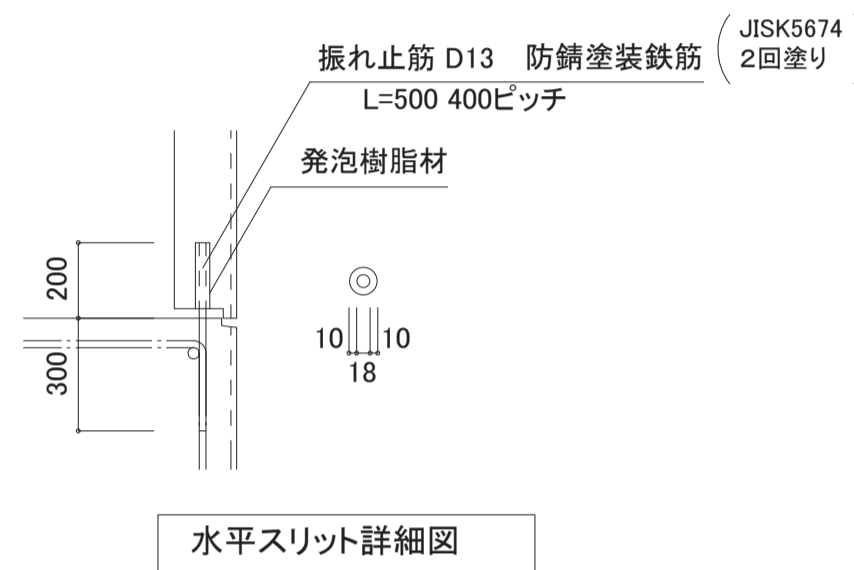
註)・立ち上り壁W25は EW18,EW15,EW15Aの下部とし、W25Aは EW18Aの下部とする。EW18Bの下部はW25Cとする。・W25B、W18A、W18B、W15Cはセンターメインコアもしくは屋外階段詳細図を参照する。

2. 壁 交差部

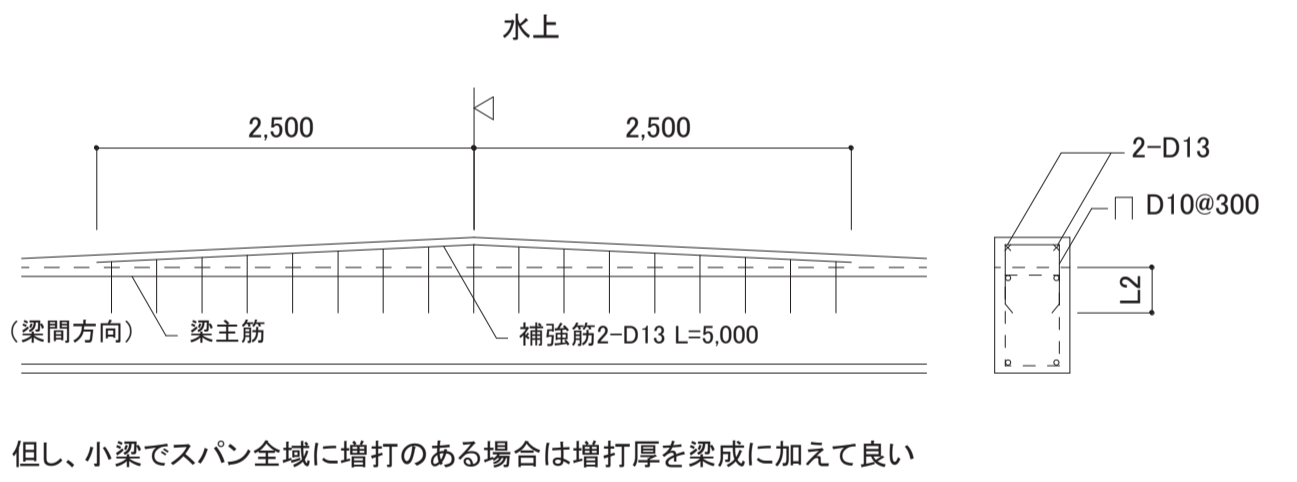


壁配筋要領

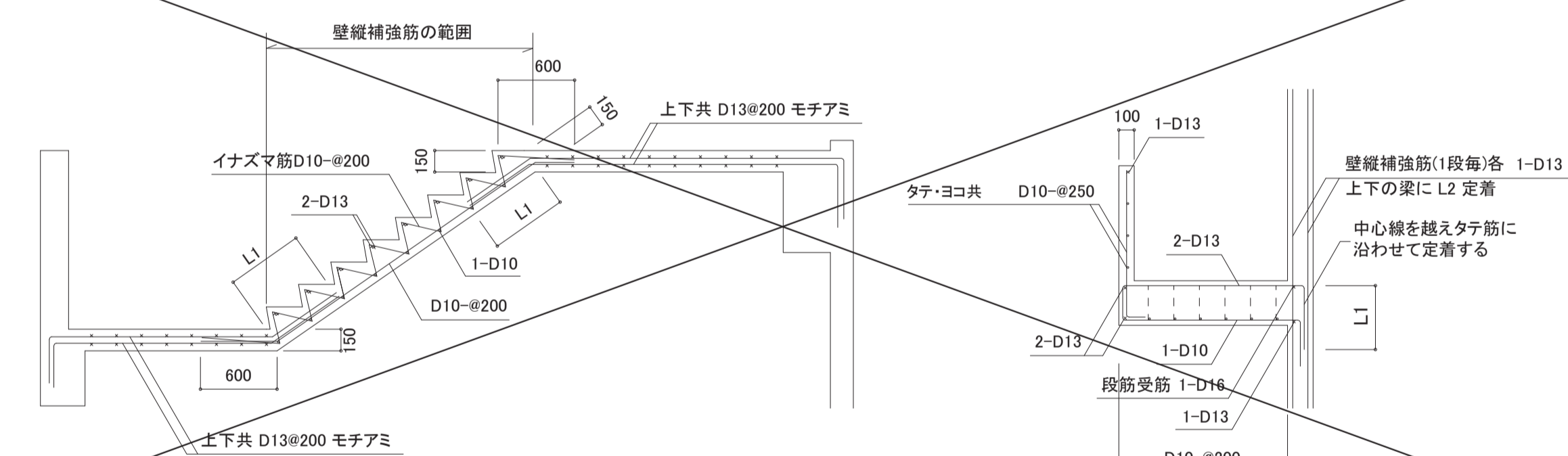
- 1. 横筋は水平アンカーとする。
2. 端部補強縦筋・斜筋は、1.壁配筋リスト 開口補強筋による。
3. 壁交差部 補強筋径 (本数は左図による)
W10 ~ W12 - D13
W15 - D16
W18 ~ W25 - D16
但し、交差する壁厚が異なる場合の補強筋径は厚い方による。
4. 開口補強筋の定着はL1とする。但し開口部が柱、梁に接する部分は補強不要とする。
5. スリーブ補強は100mm以下は不要とする。
100を越え250mm以下で孔を空けて配筋できる場合は補強不要とする。但し斜筋(D13)は配筋する。
6. 水平スリット、鉛直スリットの詳細は建築図参照。
7. 延焼の恐れのある部分のスリットの耐火時間は60分以上とする。
8. 耐震壁縦筋の定着はL2とする。
9. 耐震壁縦筋の継手は壁内とし梁の中に設けない。



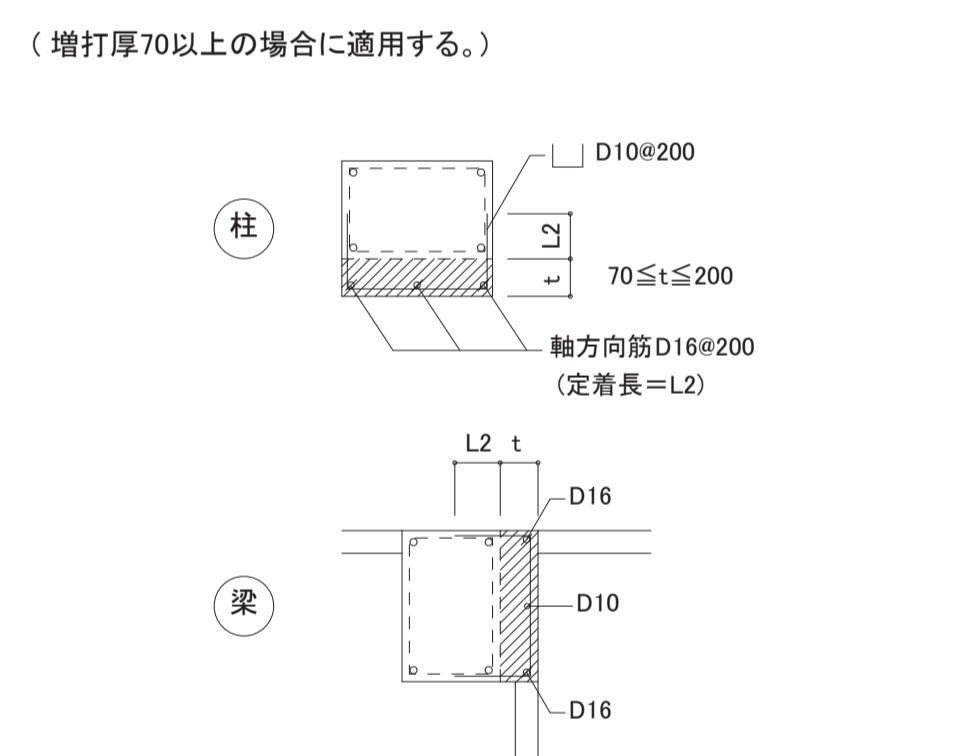
最上階梁の増打補強 1/50



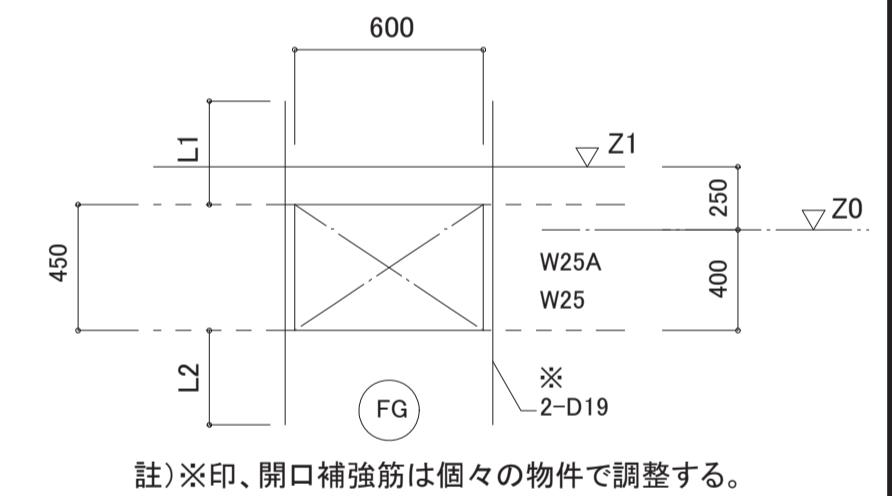
階段配筋詳細図(別図特記なきは下図による。) 1/40



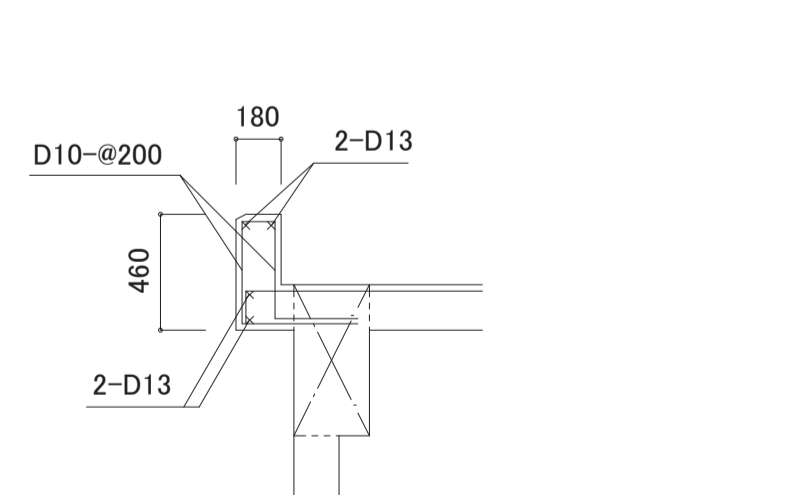
柱及び梁の増打補強 1/50



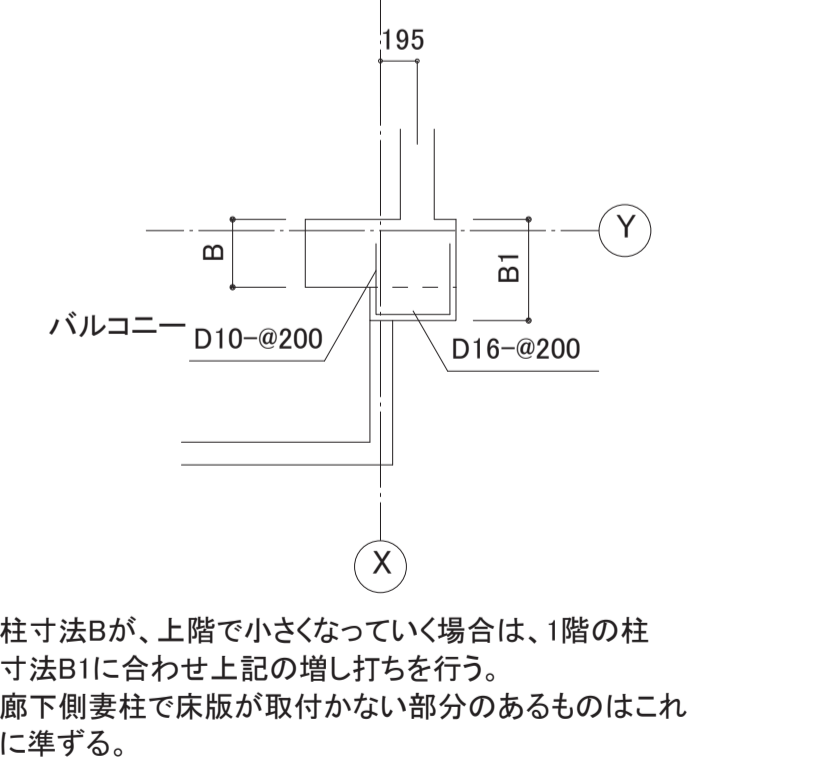
床下点検口配筋補強図 1/30



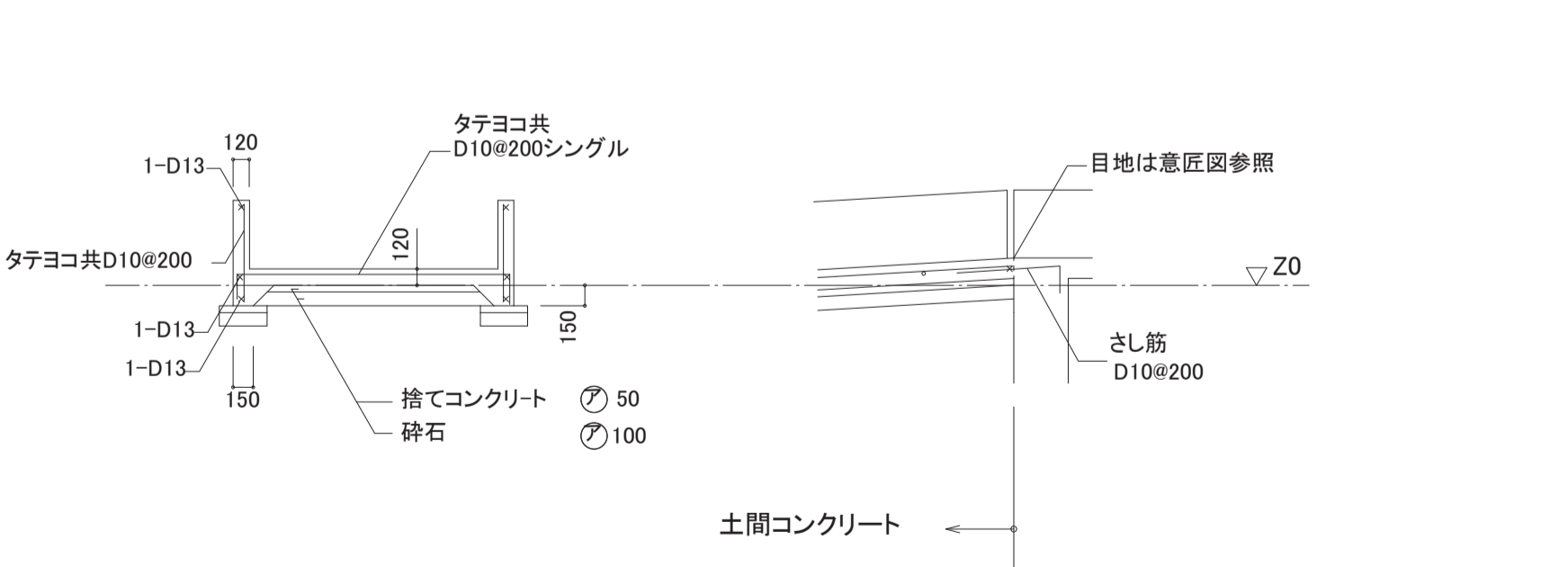
妻バラベツト 1/30



バルコニー妻柱増打ち 1/40



エントランススロープ配筋詳細図 1/50



2DKB,3DK中・妻廊下側増打部配筋納まり図 1/30

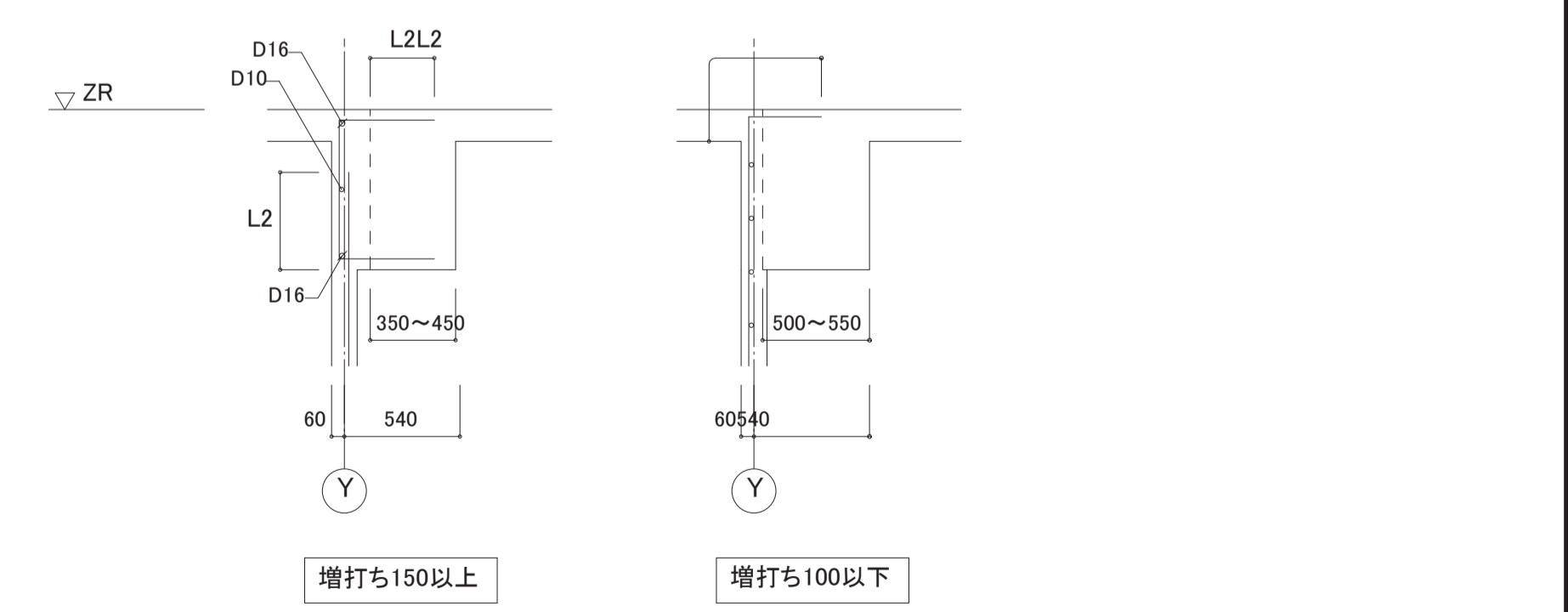
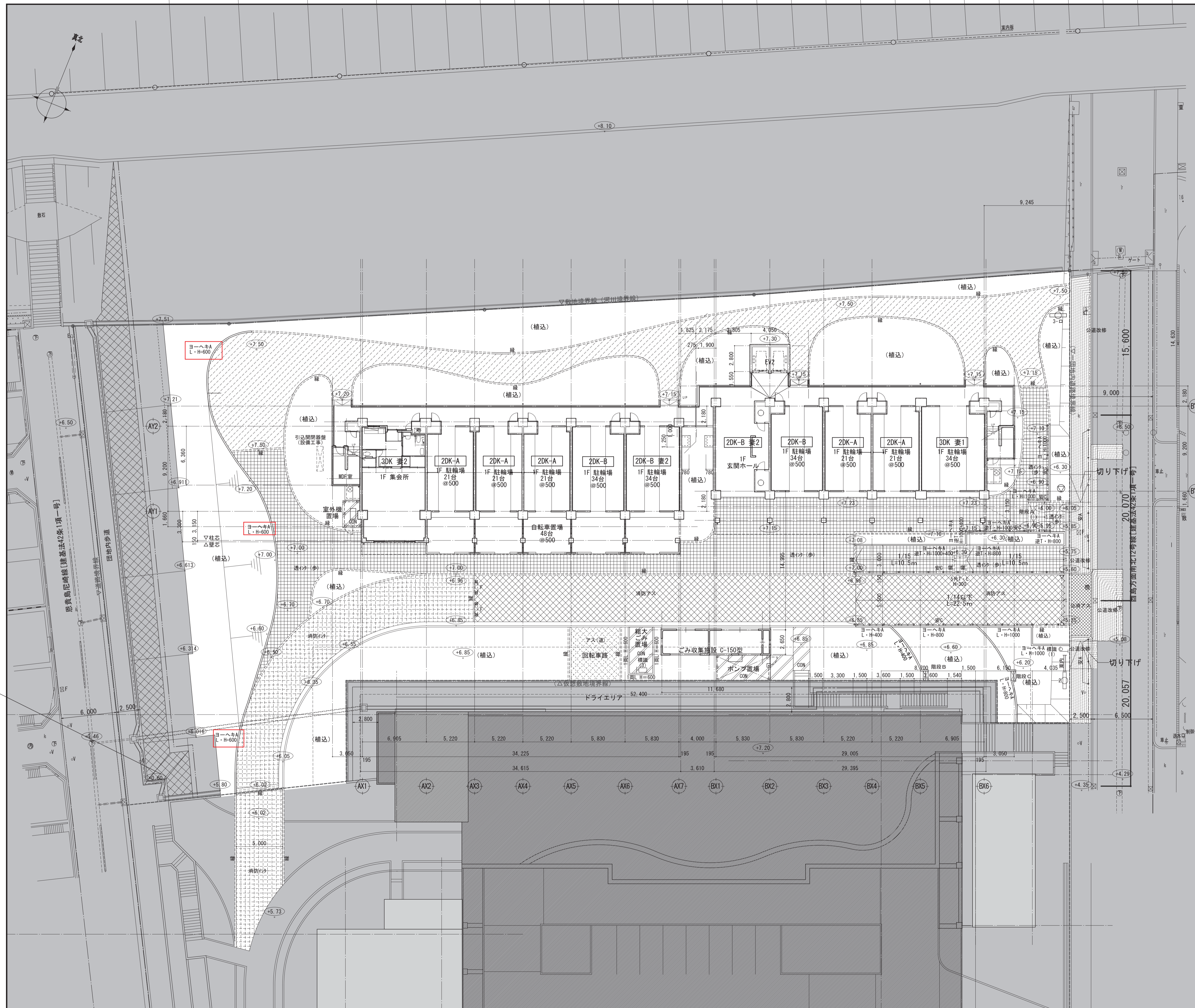


Table with columns for revision date (修正日付) and revision content (修正内容).

Table with columns for name (名称), drawing name (図面名称), scale (縮尺), drawing number (図面番号), and company name (共同設計株式会社).

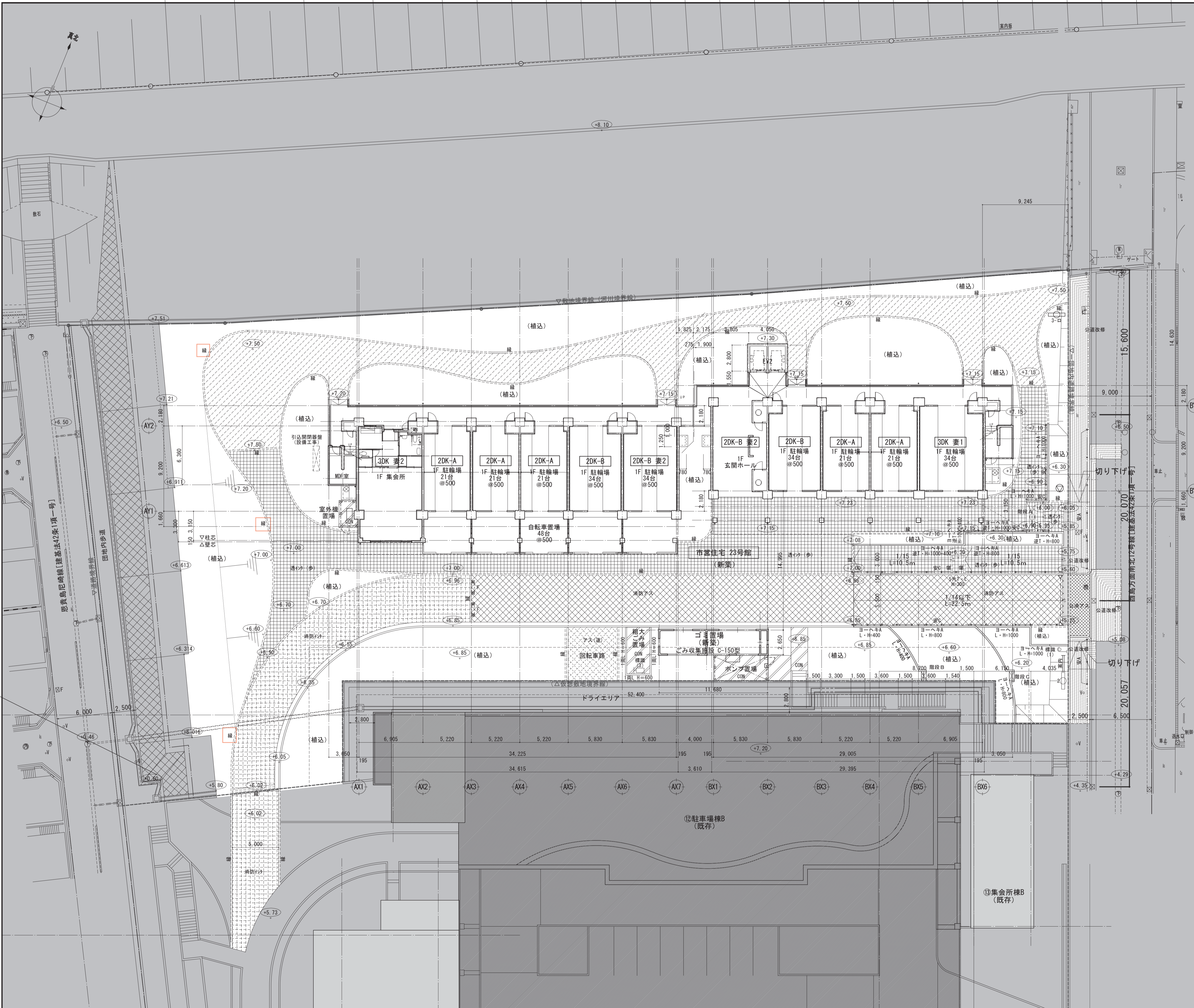


凡例		
記号	名称	備考
	コンクリート舗装 (G2-1)	
	消防車乗入れ部公道付きアスファルト舗装	
	消防用アスファルト舗装	
	透水性インターロッキング舗装 (歩道用)	
	消防用インターロッキング舗装	
	アスファルト舗装 (道)	
	土舗装	
	補込み	
	公道改修 (建設局仕様)	
	緑石ブロック	
	車止め (F)	
	駐車場出入口 車止め	
	印地名称板 (2)	
	標識 (1)	
	標識 (3)	
	案内板	
	認定標示板 (1)	
	消防用送水口	設備図による
	安全柵A型	
	安全柵C型	
	階段	
	ヨーヘキA L・H=600	
	ヨーヘキA L・H=1000	
	逆L型壁 Aタイプ	
	5FT・L H=300	
	打放し(リブ付)ウォール	
	ポンプ置場	CON基礎、CON舗装、フェンス (H=1,800、独立基礎) 詳細図による
	室外機置場	CON舗装、フェンス (H=1,800、門扉W900) 詳細図による

凡例	
	敷地境界を示す。
	計画建物を示す。
	既存建物を示す。
	KBMからの高さを示す。
	本工事対象外範囲を示す。

名称	西島住宅23号館建設工事	製図	令和2年3月
図面名称	外構計画図	製図	No. G-301 (***)
縮尺	1/200 (原寸図参照)	図面番号	No. G-301 (***)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		共同設計株式会社	

修正後



凡例		
記号	名称	備考
	コンクリート舗装 (G2-1)	
	消防車乗入れ部公道付きアスファルト舗装	
	消防用アスファルト舗装	
	透水性インターロッキング舗装 (歩道用)	
	消防用インターロッキング舗装	
	アスファルト舗装 (道)	
	土舗装	
	補込み	
	公道改修 (建設局仕様)	
	緑石ブロック	
	車止め (F)	
	駐車場出入口 車止め	
	印地名称板 (2)	
	標識 (1)	
	標識 (3)	
	案内板	
	認定標示板 (1)	
	消防用送水口	設備図による
	安全柵A型	
	安全柵C型	
	階段	
	L型擁壁 Aタイプ	
	逆L型擁壁 Aタイプ	
	開放し(リ付)ウォール	
	ポンプ置場	CON基礎、CON舗装、フェンス (H=1,800, 独立基礎) 詳細図による
	室外機置場	CON舗装、フェンス (H=1,800, 門扉W900) 詳細図による

凡例	
	敷地境界を示す。
	計画建物を示す。
	既存建物を示す。
	KBMからの高さを示す。
	本工事対象外範囲を示す。

名称	西島住宅23号館建設工事		原寸図縮尺	A1
図面名称	外構計画図	製図	令和2年3月	
縮尺	1/200 (原寸図縮尺)	図面番号	No. G-301 (***)	(***)内の
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		共同設計株式会社		